

校長室だより

令和2年7月11日 No18

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範嗣

●●●● 東京243人 冷静に確実に対処 ●●●●

昨日、東京都から、「新型コロナウイルス感染者が新たに243人確認された」と発表がありました。9日の224人を上回り、2日連続で過去最多を更新したことに、私たちも不安が隠せません。また、ここ最近、小・中・高等学校での児童・生徒の感染や、教職員の感染など、学校に関わる報道も多くなっています。再び感染が拡大していくのではという状況下で、学校は子どもたちをどう守っていくか、改めて考えさせられるこの頃です。

昨日から来週末まで、体育はマスク着用で行うこととしました。

マスクをしたままの激しい運動は危険を伴うことから、体育授業時は、三密対策を講じたうえで、マスクを外して授業を進めてきました。(区のガイドラインに沿って)しかしながら、体育は、自席で受ける算数や国語と違って行動を伴うため、どうしても子ども同士の距離が近くなってしまいます。加えて、他の友達への声の大きな応援や、楽しいおしゃべりが始まり、飛沫対策が十分でない状況がこのところ発生してきました。(子どもたちの緊張がほぐれてきていることにも起因します。)ほかの場面で、感染対策が比較的徹底している中、一番のリスクは給食時ではなく体育授業時になりつつあり、この度、マスク着用の体育授業を行うよう改めることとしました。

もちろん、走るときや、少々激しい運動を行うときは、息苦しさを伴うため、「児童相互の距離」と「しゃべらない」を守らせながら、あごまでマスクを下げての授業を可としています。

休み時間のマスク着用での遊び方と同程度の運動は、今のところ問題がないようなので、しばらく(一応、来週末まで)マスク着用での体育を行っていきます。今後、気温が高くなることも考えられるため、多目的室外のひさしの下にミストを新設いたしました。吹き出し口10カ所から、霧状の水が出て、その水分が体につくことで、一時的に清涼感が得られるという仕組みです。基本的に、先生の説明を聞くときは樹木の下などの日陰の涼しい所で行います。これから、梅雨明け後の外体育については、熱中症防止の観点から、WBGT 測定機の暑さ指数を考慮し、体育授業の可否を管理職が決定してまいります。



★▲●■ 野菜がとても大きくなりました ■●▲★

明るいニュースです。ホームセンターなどで、種や苗を買ってきて育てていらっしゃるご家庭もあるかと思いますが。私も家でピーマン・オクラ・インゲンを育てています。小松菜など葉物はすぐに虫に食われますし、キュウリは病気になりやすく難しい。ほうれん草は土のアルカリが整わないとうまく育たない。ナスは種ばかり……。過去にベランダで育てて、失敗せずたくさん収穫できたのが、ピーマン・オクラ・インゲン（ゴーヤも簡単ですが、苦くて×）ということで、今年もこの三つを栽培中。しかし、本校の「なかよし広場」の野菜の育ち方には、とてもかないません。



ピーマンは、とてもよく育っています。



ぬか漬けにしたら、おいしそうですね。



鼻を近づけると、畑のトマト特有の香り



見事ですね、ミニトマト



焼きトウモロコシにしたら、美味しそうです



ブロッコリーって、蕾だということが分かります。今にも花が咲きそうです。